小日向だより

ホームページ http://www.bunkyo-tky.ed.jp/kobidai-ps/

令和5年 3月 23日 (木) 文京区立小日向台町小学校 学校だより No.12 校 長 田中 純一



一年間、ありがとうございました



校長 田中 純一

子供たちの進級・進学を祝福するかのように、南門の桜が満開となりました。明日の卒業式をもちまして今年度の教育活動が終了します。この一年、保護者、地域の皆さまには教育活動へのご理解とご協力をいただきましてありがとうございました。改めまして感謝と御礼を申し上げます。

21日(火)に教員の異動等についての報道発表がありました。確認されたご家庭もあることと思いますが、認識の有無の違いに配慮し22日(水)に放送朝会を行い、異動(転出)、退職の教職員を子供たちに伝えました。離任式は新年度に行うことを伝え、最後に全校で声を揃えて、「ありがとうございました。」の言葉で感謝の気持ちを伝えました。教職員の異動、退職等については、4月6日に改めてお知らせいたします。

20日、今年度最後の全校朝会は、学校づくりで大切にしてきた「笑顔と感謝」について話しました。笑顔に触れると、うれしい、楽しい気持ちになります。元気が出て、よし、がんばろうと勇気が湧いてきます。子供たちが安心や信頼を感じて学校生活を送ることができるように笑顔を大切にして学校づくりをしてきました。笑顔あふれる学校は校長一人では作れません。教職員、保護者や地域の皆さま、子供たちなど、多くの人の力が集ってできます。毎日、教室やトイレがきれいに掃除されていることや美味しい給食が食べられることは当たり前ではなく、誰かがその仕事をして支えているからその環境ができます。支えられて生活していること、感謝の気持ちをもつことを子供たちに繰り返し伝えてきました。人との関わりでも同じです。友達や周囲の人に支えられている自分を意識できると、支える気持ちをもつことができます。感謝の気持ちを伝える「ありがとう」の言葉は、相手を大切に思う気持ちも伝えます。「笑顔と感謝」を大切に卒業式を迎えたいと思います。

卒業式の通し練習に5年生が参加しました。6年生は先週からさらに卒業式への思いが高まり、一つ一つの所作や門出の言葉の力強さから真剣さが伝わってきました。6年生の姿を見つめる5年生の眼差しもまた真剣そのものでした。

この一年間、子供たちは人や物や事と関わりながら様々な経験を重ね力を付けてきました。修了式には子供たちに、自分の好きなことやよさを伸ばし自分らしさに自信をもつこと、友達や周囲の人の思いや考えを受け止め、人を感じて行動できる人になってほしいことを話します。4月から、6年生は中学校へ進学し、1~5年生は1学年進級します。一人一人が新たな環境で、目指す自分の姿に向けて自己実現できることを願っています。

